

病気の

治療をしながらも働ける職場へ

— 治療と職業生活の両立支援に向けて —



ナビゲーター 山田邦子

シミュレーションドラマのあらすじ

がんを発症した社員と、その上司、人事労務担当者とのやり取りを通じて、治療と職業生活の両立を図るために、会社はどのような対応をすればよいのか、ガイドラインに沿ってシミュレートしたドラマで解説しています。



株式会社クレディセゾン 取締役
武田雅子様インタビュー

現在は(株)クレディセゾンの取締役である武田雅子さんに、がんを経験した社員として、また人事部長の経験者としての2つの視点からがんになった社員に対する企業の対応のあり方などについてお話いただいています。



Aさん患者インタビュー

乳がんの手術後に職場復帰を望んだが、自己都合退職を会社から迫られ、退職せざるを得なかった42歳の事務員の女性の実例に基づく再現インタビュー映像です。

CAST



田中健一 (41歳)
大腸がん罹患した当事者。がんと診断され、休むことになるので仕事のことが心配と上司である山本課長に相談する。



山本博司 (54歳)
当事者の職場上司。部下である田中さんからの相談を受け、人事労務担当者のところへ一緒に話を聞きに行く。

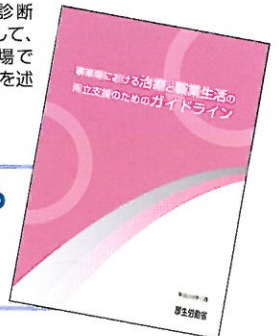


川村由希 (31歳)
人事労務担当者。田中さんと山本課長の相談を受け、会社として治療と仕事の両立に配慮していくことを話す。



谷本 紘介 (58歳)
産業医。主治医の診断書・意見書を参考にして、就業上の措置や職場での配慮に関する意見を述べる。

平成28年2月に厚生労働省から公表された「事業場における治療と職業生活の両立支援のためのガイドライン」の詳細を解説したパワーポイントも視聴できます。



映像制作……………株式会社 毎日映画社
医療監修……………岩崎 明夫
(産業医科大学 作業関連疾患予防学研究室 非常勤助教)
シナリオ制作協力…飯島 美世子
(独立行政法人 労働者健康安全機構 産業保健アドバイザー)


撮影協力……………株式会社 クレディセゾン
企画・発行……………独立行政法人 労働者健康安全機構
〒211-0021
神奈川県川崎市中原区木月住吉町1番1号
TEL 044-431-8661

啓発
動画

治療と仕事の両立支援

労働者健康安全機構のホームページから
無料で視聴できます。



企画／ 独立行政法人
労働者健康安全機構
制作／毎日映画社

DVDのねらい

平成28年2月に厚生労働省から公表された「事業場における治療と職業生活の両立支援のためのガイドライン」について、事業者、人事労務担当者の皆様に理解していただくとともに、治療と職業生活の両立について社員の皆様にも一緒に考えていただくことを目的に制作した動画です。

ナビゲーター
山田邦子

ご自身もがんを発症され、二度の手術を経て芸能界に復帰した山田邦子さんが、ナビゲーターとして、仕事と治療を両立させるための仕組みづくりについて解説しています。



両立支援啓発動画

検索

<https://www.johas.go.jp>



独立行政法人 労働者健康安全機構

